

目次	
令和5年度子ども絵画企画展.....2	研究所研究発表報告.....8
5月の研修ガイド.....2	信濃教育会教育研究所 研究員募集...9
長野県学事関係職員録 正誤表.....2	県小中学校校長会との懇談会.....9
講習・講座参加者の声.....3～5	今月の一枚.....10
哲学の道 ご案内.....5	100年館の絵.....10
防災教育研究調査委員会の紹介.....6	
世界の学校.....7	



Enjoy & Refresh! ALT とぶらっと善光寺



8月3日 善光寺&淵之坊 受講者数20名

Question

善光寺六地蔵。他の5体はあぐらをかいて修行をしているのに、向かって右端の地蔵は左足を踏みだしてあぐらをかいていませんね。どうして？

Reaction

「態度が悪い？」 「足がしびれた？」

英語でこのようなやりとりをしながら梵鐘の会や ALT と共に善光寺の史跡をめぐるしました。先ほどの Question, 読者の皆さんは何故だと思いますか？（答→P10）

長野県人であれば誰でも一度はお参りしたことのある善光寺。でも知らないことがたくさん。英語でのやりとりはよ〜く聞かないと、皆が笑うところで自分も笑えないという恥ずかしさも手伝って集中した時間となりました。社会見学など子どもたちにも一部英語で説明した方が聞けるかしら？といった声も。宿坊の精進料理をいただきながら ALT や参加者の方どうしゆっくりと語らい、楽しいひと時となりました。

よい勉強+リフレッシュ(参加者感想)

大変お世話になりました。楽しく、そしてためになるプログラムでした。グループのメンバーと親しく回れて最高でした。梵鐘の会の方の説明も素晴らしくあの熱意に敬服いたしました。良い勉強とリフレッシュになりました。素晴らしい機会をどうもありがとうございました。

「子どもから見える風景 子どもが感じる世界」を開催しました

7月7日（金）～8月4日（金）、信濃教育博物館において企画展を開催しました。昭和59～2019年度の「信州子ども絵画100年館」収蔵作品の中から157点を展示し、199人の方にご来館いただきました。

娘さんの作品を觀にいらしたご家族は、お父様の作品も収蔵されているとのことでお声がけくださり、親子それぞれが小学生のときに描いた作品を手に記念撮影をして行かれました。



昭和63年度作品（小1）



平成21年度作品（中2）



来館者の感想から

20年以上前に選ばれたときはびっくりしました。息子は今33才。パティシエをしています。絵を描くのは得意だったので、パティシエにつながっているのかな？とも思っています。主人と二人、とても楽しいうれしい時間を過ごしました。



お知らせ

信濃教育会生涯学習センターにおいて、令和4年度第36回「今を生きる子どもの絵」に選出された147点を展示します。ぜひお出かけください。

また、展示終了後は11月1日から6回にわけて信濃教育ホームページに作品の画像を掲載します。

と き 10月11日（水）～17日（火）

ところ 信濃教育会生涯学習センター（安曇野市豊科高家796-3）

その他 期間中無休・入場無料

10月の研修ガイド

17日（火）●文学講演会 ◎上伊那教育会館 講堂 ◇堀井正子（近代文学研究家）

☆上伊那教育会 0265-72-3416

18日（水）●第379回諏訪季節大学 ◎岡谷市カノラホール ◇小平奈緒（信州大学特任教授）

☆諏訪教育会 0266-52-0213

●名称 ◎会場 ◇演題・講師等（講師名敬称略） ☆連絡先

令和5年度 「長野県学事関係職員録」正誤表

記載内容について訂正のご依頼がありましたので、お知らせします。

（雑誌図書編集部）

頁	学校名	誤	正
220	若槻養護学校	（記載無し）	養教 春原 令奈

体験をとおして感じるって楽しい！ 講習・講座参加者の声

美術

時間を忘れて制作だけに集中した3日間

7月31日(月)～8月2日(水) 信濃教育会館

受講者数 34名

今年度新たに上田秀洋先生（信州大学名誉教授）を講師に迎え裸婦デッサンに挑みました。毎年楽しみに参加される方も多いですが、初めての方や高校生にもご参加いただきました。

○**学生**という立場で参加させていただきました。最初は緊張してしまったりもしたのですが段々とスケッチやクロッキーに集中できたのでよかったです。作品を作るだけでなく**他の人の作品を見て、指導や解説を聞いて**より深く美術について学ぶことができました。

○**上田先生が講師**でなつかしく、参加された方との交流ができうれしかったです。上田先生も謙遜されていましたが、なるほどなと思うことを教えていただき（**絵画観、対象のとらえ方**）とても勉強になりました。



多様な子どもたちへの支援

私とあなたのちがいを実感・私の気持ちがあなたに届く喜び そしてリスペクトへ

8月1日(火) 塩尻市総合文化センター

受講者数 32名

「子どもたちとも、こんなわくわくした気持ちを共有出来たら幸せ！」 ～ 遊び心をキーワードに ～

体験をとおして
感じるって楽しい！

遊び、つながることって、
おもしろいなあ

子どもたちと
向き合う際にも
この明るさで

自分が子どもに
なったような気持ちで
参加したよ



○教師の見方が変われば、一人一人の子どもへの見方や接し方も自然と変わる。
○この子をどうすれば・・・から、どうすれば一緒に楽しめるだろうかと前向きに支援を。
○体、頭、心をつかうことでめいっぱい楽しめました。心もほぐれ自己肯定感アップ！

信濃の国探訪

「碌山もあの山を見ていた!」 過去と未来が繋がった2日間

8月2日(水)～3日(木) 北アルプス山麓(安曇野)

受講者数 34名

本年度は、北アルプス山麓(安曇野)を訪ね、講師の宮下健司先生の心熱い解説で、豊かな自然、産業、信仰・芸術に触れ、郷土の素晴らしさを実感し、楽しく学べた2日間でした。

○**安曇野再発見**でした。オールマイティに淀みなく解説してくださった講師の**宮下先生の博識**に感動し、先生の「**未来は過去が作っている**」という言葉に重みを感じました。

○「**ここから碌山もあの山を見ていた**」という講師の先生の言葉に、そんな風に歴史上の人物と現在の景色をつなげて考えたことがなかったので、今までにない**新鮮さ**を感じました。

○安曇野が大好きになりました。教科書で学んだことや本で知った知識が、実物に触れることで実感を伴って理解でき、今まで点だったものが**繋がっていく面白さ**を感じました。強さや悲しみが感じられる碌山の彫刻、15℃の湧き水に足を入れ**ワサビになってみた瞬間**…こういう経験が、**一生忘れない知識**となるのだと思います。



一から学ぶ書写

すぐに役立つ書写指導 基礎から楽しく学びました

8月4日(金) 信濃教育会館

受講者数 37名

今年から講座内容を授業に直結した「書写指導の基礎を学ぶ」ものにリニューアルしました。講師の市澤静山先生、坂田和弥先生、小池勲先生には、毛筆書写から硬筆書写まで、受講者の幅広いニーズに対応した指導をしていただきました。

○力の入れ方や筆の置き方など、細かいところまで教えていただきました。直後を書くとな手になったように感じました。**子どもたちにも的確なアドバイスやコツを伝えられたらいいな**と思いました。

○書写が苦手な子どもたちにどのように教えたらよいか悩んでいました。今日、**基本の基本**を教えていただき、書くときどこを意識してどう筆を動かせばいいのかわかり、すっきりした気分になりました。

○改めて文字はバランスが大切だということを学びました。点画や線をつなぐ位置、置く位置で文字の印象が変わり、書き進めていくのが楽しかったです。大人になるとこのように「**一(いち)**」から**学ぶ機会**がないのでとても勉強になりました。



理科観察・実験講習会

こんな楽しい講座があったんだ！

★県内4カ所のブロックに分かれて開催したよ

6月10日（土） 中信ブロック

「地質探偵ハラヤマとGO!」上高地・焼岳

8月1日（火） 南信・北信ブロック

「わくわく科学実験教室」かざこし子どもの森公園

「地球探訪へLet's go」戸隠地質化石博物館

8月4日（金） 東信ブロック

「Hello 生き物たち」上田創造館



- 上高地やその周辺の山岳の成り立ちについて理解を深めることができた。また、**さまざまな立場の参加者が集うことで新鮮なコミュニケーションが生まれたこと**も大きな収穫であった。（中信）
- すぐに持ち帰れる教材やアイデア**を教えてくださいました。子どもと共有したいおもしろい実験ばかりでわくわくしました。（南信）
- フィールドワークをして、博物館でまとめて、深い学びができたので大変良かったです。**高校の教員でも十分学習できるので**、もう少しPRしてもよいと思います。（北信）
- 自然とじっくり向き合うことは本当に豊かな時間だと感じました。**見えないものが見えるようになる。見たい世界が見えてくるようになる**。そんな時間を授業の中でつくっていききたいと強く感じる時間でした。（東信）

信濃教育会生涯学習講座

哲学の道

令和5年10月28日（土）

信濃教育会生涯学習センター／オンライン配信

講演 「哲学へのいざない ― 言葉と沈黙」

私たちの生活は言葉なしには成り立ちません。しかし、普段、それを意識することはあまりありません。改めて「言葉とは何か」ということについて考えてみたいと思います。言葉がもつ力と限界、それは何を語りうるのか、何を語りえないのか、そうした問題に迫ってみたいと思います。拙著『哲学のヒント』（岩波新書）の第6章「言葉」か、あるいは『はじめての哲学』（岩波ジュニア新書）の第7章「言葉とは何か」に予め目を通していただくと、よりよく理解いただけるかと思います。

（藤田先生からのメッセージより）



講師 藤田 正勝 先生
〈京都大学名誉教授〉



- * QRコードよりお申し込みください。
- * 電話・FAX・e-mailでも受け付けております。
住所・氏名・電話番号と参加形式（会場／オンライン）をお知らせください。
- * 信濃教育会ホームページからも申し込めます。
- * 申し込み締め切り 令和5年10月20日（金）

【お問い合わせ】信濃教育会生涯学習センター 〒399-8204 安曇野市豊科高家796-3
TEL 0263-72-9991/026-232-7169（教育研究所）FAX 0263-72-9985/e-mail center@shinkyo.or.jp

地域と学校がつながり 子ども自らが創り出す防災教育

信濃教育会は、長野県災害地域連携コンソーシアムの事業である『災害時の多様なフェーズ・階層・対象への地域連携モデル創出事業』の、休眠預金を活用した事業の公募に応募し、実行団体に選定されました。

(事業実施期間：2023年度～2025年度)

そこで、本年度より研究組織を立ち上げ、自分の命を守るために「いま自分がすべきことは何か」と考える命の教育の推進や、地域の一員として、地域に目を向け、どうしたら地域の防災の一役を担えるかと考え、行動できる防災教育の推進を進めて参りたいと思います。今後3年間の取り組みは下記のように設定しました。

■1年目の取り組み

- ・研究調査委員会の設置
- ・県内外の実践事例調査・収集
- ・防災教育の取り組みにおける課題の洗い出し
- ・県内外の防災教育先進校の実践から学ぶ
- ・学校が中核となり、地域を巻き込んだ防災教育の推進
＜地域モデル＞
- ・子ども達が中核となり子ども達が創る防災教育の推進
＜学校モデル＞

■2年目の取り組み

○学校モデル

- ・主体的な判断力を育てるカリキュラム開発
- ・道徳の授業「命の教育」の実践
- ・総合的な学習の時間で主体的・探究的な防災教育の実施

○地域モデル

- ・学校と地域の連携で実施する避難訓練や防災マップ作り
- ・平時より地域住民に開かれた学校づくり

■3年目の取り組み

- ・防災子ども会議の開催
- ・実践報告・事例集の作成
- ・モデル的取り組みを各地域へ発信し、その成果を地域全体で共有し、学校安全や防災教育の底上げを図る

委員名簿

・安曇野市	◎赤羽 文恵	穂高東中学校
・長野上水内	小田切洋輔	長沼小学校
・長野上水内	小林 敏光	櫻ヶ岡中学校
・木曽町	柳澤 航大	日義小学校
・佐久	中村 文洋	軽井沢西部小学校
・安曇野市	望月 翔太	明南小学校
・安曇野市	近藤 悌	穂高東中学校
・諏訪	後藤 元彦	岡谷西部中学校
・大学	廣内 大助	信州大学
・大学	本間 喜子	信州大学
・県社協	山崎 博之	
・県社協	岡宮 真理	
・県社協	石井布希子	
・県PTA	林 英之	
・豊野地区住民自治協議会	柳原 政利	

【穂高東中の地域と連携した防災教育】



区長さんと生徒会による地域の防災についての話し合い



地域の方との防災倉庫の確認

信濃教育会職員の異動について

お知らせします。



竹内 淳
研究調査部



楢本 美和
総務・会計部

皆様のご協力やご指導をいただき、よりよい防災教育を目指して参りたいと思います。
何とぞよろしくお願いいたします。



制限された生活乗り越え、 見えたもの



北京日本人学校 北村 亜矢子

北京日本人学校に赴任し3度目の夏を迎えました。本校は中国の首都・北京の中心部に位置し、児童生徒合わせて約250名が在籍する小中併設校です。

赴任1, 2年目は徹底した感染症対策が行われていたため、学校内外の様々な活動が制限されたり、オンライン授業を余儀なくされたりし、そのため、子どもも大人も「過度に期待をもたない。できないことは諦め、できる範囲で息長くやる」という、ある意味逞しい考えを持つようになったと感じます。とは言え、様々な体験を通して大きく成長する子どもたちにとって「人間関係構築に必須の想像力」や「何かをやり抜いた経験から得られる自信」を手に入れる機会が少なかったことは損失と言っても過言ではないでしょう。

2023年は日常が戻ってきました。

今年度は、子どもたちの自治的活動を下支えし、途切れ途切れになっていた児童会・生徒会活動を軌道に乗せることを意識し活動しています。また、中学部の進路学習では、前期に職業人講話を複数回開催することで、生徒が、日本の外で活躍する方々の生き方に触れることを通し「自分とは何者で、どの様に社会と関わり、生きていきたいのか」を考える場をつくりました。また、今年の夏は多くの中学部生が一時帰国し高校見学に参加したり、現地のサマースクールや語学学校体験に参加したりするなど、先行き不透明で制限の多くあった時代を経験したからこそその食欲さが学校の内外で見られます。

私自身にも大きな変化があった2年4か月でした。

授業では、私は中学部で美術と家庭、小学部で図画工作を担当していますが、子どもと一緒に授業を創り上げていく気持ちが強くなりました。子どもたちに対し「どのアプローチがヒットしたのか」や「その子なりの引っ掛かりはなにか」を作品や学習カードからだけでなく、児童生徒と直接対話することから、私が学び、次の授業に繋げていくようになりました。対面の授業だからこそできる生活指導にも遠慮が無くなり、だめなことはだめと伝え、よい姿には素直な気持ちで「素敵だね」と伝えることが、オンライン授業を経験したことでより積極的にできるようになりました。私自身が子どもたちと良好な関係を築きながら自己表現の手段を広げさせ、児童生徒自身が満足感のもてる授業ができるよう準備しています。

他にも、チームで働くことの重要性や自分の心身を大切にすること等「日本での当たり前」の大切さを実感する毎日です。

任期も残り僅かとなりましたが、子どもたちと元気いっぱい、笑って泣いて、過ごしていきたいです。



北京日本人学校校舎
3月下旬には桜が咲き、大気の良い期間は晴天が続く。



運動会に向けて
5月開催の運動会に向け、小中合同委員会で作成する様子。



小学部6年生図画工作風景

令和5年度 教育研究所研究発表会を終えて

《本年度の研究発表会》

- 東北信 A 地区：6月17日(土) 軽井沢町立軽井沢西部小学校
- 東北信 B 地区：7月8日(土) 信濃教育会館 (ハイブリッド)
- 中 信 地 区：7月15日(土) 塩尻市立広丘小学校
- 南 信 地 区：7月22日(土) 岡谷市立神明小学校

今年度は、対面で研究発表会を行うことができ、東北信 B はハイブリッドでの開催となりました。若い先生方やベテランの先生方が幅広く会し、熱心な討議が行われました。



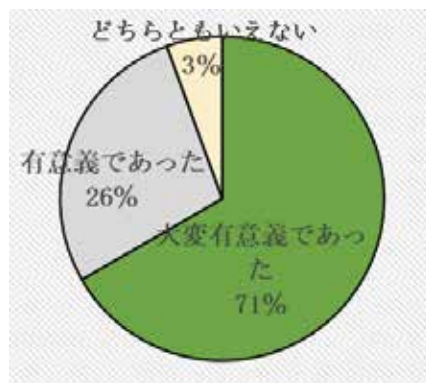
参加者の声 (分科会アンケートより)

研究会について、たくさんのご意見ありがとうございました。発表者の研究報告を受けての参加者の対話が止まらず、先生達がつながり合う充実した時間となりました。

<テキストマイニング>



<満足度>



- 子どもが困ったことを表現出来たり安心できたりするために、関わり方を大切に、常に「今この子は何を考えているのだろう」という視点を持ちたいと思いました。また、「～すべき」という考え方をしない意識をもとうと、感じることができました。(初任者研修参加者)
- 子ども主体の学びが生まれていくときに、教師がどう在ったらよいか改めて考えさせていただきました。子どもが追究したいことと、教師が追究したい(させたい)ことが後々重なっていくのであれば、教師発の課題でもいいのだろうと思いました。教師の「出」があることで課題の「芽」が明確な「課題」になっていくのかなと思いました。(キャリアアップ研修参加者)



お知らせ

各会場の開会式における佐伯所長挨拶の内容および研究紀要巻頭言を「信濃教育会ホームページ」(信濃教育会教育研究所)に掲載(アップ)しました。どうぞご覧ください



「新たな出逢いと感動、そして学びの楽しさあふれる教育研究所へ！」

教育研究所の魅力

- 実践者として新しい教育を学ぶ感動
先進的・特色ある実践校への視察，公開研究会等への参加
- 講師・同僚との「学び合い」から「納得」の感動
実践の省察，新たな知見と見識を広げる所長・特任所員との対話
- 学校では経験できない学びを広げていく感動
新たな出会い，土曜公開講座の企画運営，幅広い人との交流



研究テーマ

- テーマ1
教師と子ども，子ども相互の関係づくり
- テーマ2
子どもの学びが深まる授業づくり
- テーマ3
今日的な課題に対応する多様な学び

・募集締め切り

令和5年10月17日（火）

- ・詳細は，各校に配布されている募集要項参照

教育研究所については，
HP（右QRコード）を-----
ご覧ください。



先生方の研修を後押ししたい

長野県小学校長会・長野県中学校長会との懇談会 7月13日

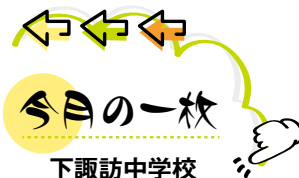
先生方はとにかく忙しい。そんななかで先生方の研修をどう支えていくか，教師としてのキャリア形成をどう図っていくか，校長会役員の皆様と懇談を行いました。

- ・学校を離れて研修に出たいと思ってもなかなか学校を空けられない実情がある。
- ・勤務時間外に行われている同好会等の活動に参加しにくい面がある。平日に先生方がそろって研修をすることは考えられないだろうか？
- ・自主性や自発性が生きる研修にしていきたい。またリラックス・リフレッシュできるような研修も続けていきたい。



研修に出ることで実践力のある人との出会いがあったり授業を変えていくきっかけをもらったりした。若い先生方に校長先生や先輩の先生から「学んでこい」と研修に押し出してあげることも必要ではないか，といったご意見もありました。

校長会と教育会。それぞれの役割は異なりますが，子どもたちのために先生方のために今後連携を深めてまいりたいと思います。



「なぎがま」は諏訪大社の神器であり、風を防ぎ、天災を避ける神ともなっている。本校は開校以来、雄々しく己が人生を切り拓いていく、たくましい生徒の育成を願って「開拓精神」を高揚してきた。時、流れいつの頃からか、これを「なぎがま精神」と呼ぶようになり、生徒の精神的支えとして継承されている。

信濃教育 予告



三七回 信濃教育会総集会

指導者
村田 結子（伊賀良小学校）

100年館の総

令和4年度 永年保存作品
今を生きる子どもの絵



「シーラカンスといっしょに」
松澤 ふみ（伊賀良小3年）

信濃教育博物館所蔵

合唱部の歌う「シーラカンスをとりにいこう」を聴いた子どもたちは、すぐにその楽しい曲調が気に入りました。ストーリーが浮かびやすいこの曲を聴いていると、子どもたちからは様々なイメージが浮かんできます。ふみさんは「シーラカンスと一緒に泳ぎながら歌っている感じがしたい」と描き始めました。まずは大きなシーラカンス。綺麗なシーラカンスがいいと、多くの色を細かく使って丁寧に塗

りこみました。さらに、友だちと話すうちに、「人魚になったら楽しそう」と閃きました。海にもこだわりました。クレヨンの上から絵の具を塗ると、浮き出て見えることを知ると、泡や波にびったりだと、夢中で描き進めました。水で滲んだ色はまるで波打つ海のようにになりました。人魚たちの歌声が聞こえてきそうな絵に、満足気な表情を浮かべていました。

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。



公益社団法人
信濃教育会

〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL 026 (232) 2470
URL <https://shinkyo.or.jp> ✉ shinkyo@shinkyo.or.jp
編集兼発行人／武田 育夫

